



## バックアップのリストア

### SnapCenter Plug-in for VMware vSphere

NetApp  
December 09, 2025

# 目次

バックアップのリストア	1
リストアの概要	1
リストア処理の実行方法	1
バックアップの検索	3
バックアップからのVMのリストア	4
削除されたVMのバックアップからのリストア	6
バックアップからのVMDKのリストア	8
MySQLデータベースの最新のバックアップのリストア	9
MySQLデータベースの特定のバックアップのリストア	10

# バックアップのリストア

## リストアの概要

プライマリ バックアップまたはセカンダリ バックアップからVM、VMDK、ファイル、フォルダをリストアできます。

- VMのリストア先

従来のVMをリストアできる先は、元のホスト、同じvCenter Server内の別のホスト、同じvCenterまたはリンクモードの任意のvCenterで管理される別のESXiホストです。

vVol VMは元のホストにリストアできます。

- VMDKのリストア先

従来のVMのVMDKは、元のデータストアまたは別のデータストアにリストアできます。

vVol VMのVMDKは元のデータストアにリストアできます。

ゲスト ファイル リストア セッションで、個々のファイルやフォルダをリストアすることもできます。このセッションでは、仮想ディスクのバックアップ コピーを接続し、選択したファイルやフォルダをリストアします。

以下のものはリストアできません。

- データストア

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してデータストアをリストアすることはできません。リストアできるのは、データストア内の個々のVMのみです。

- 削除されたVMのバックアップ

削除されたStorage VMのバックアップはリストアできません。たとえば、管理LIFを使用してStorage VMを追加したあとにバックアップを作成するとします。その後、そのStorage VMを削除してそのStorage VMを含むクラスタを追加すると、バックアップのリストア処理が失敗します。

## リストア処理の実行方法

VMFS環境の場合、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereは、クローニングとマウントの処理およびStorage vMotionを使用してリストア処理を実行します。NFS環境では、ネイティブのONTAP Single File SnapRestore (SFSR) を使用し、ほとんどのリストア処理をより効率的に実行します。vVol VM の場合、プラグインは復元操作にONTAP単一ファイルスナップショット復元 (ONTAP SFSR) とSnapMirror復元を使用します。次の表に、リストア処理の実行方法を示します。

復元操作	から	使用方法
VMとVMDK	プライマリ バックアップ	NFS環境: ONTAP Single File SnapRestore VMFS環境: Storage VMotionによるクローン作成とマウント
VMとVMDK	セカンダリ バックアップ	NFS環境: ONTAP Single File SnapRestore VMFS環境: Storage VMotionによるクローン作成とマウント
削除したVMとVMDK	プライマリ バックアップ	NFS環境: ONTAP Single File SnapRestore VMFS環境: Storage VMotionによるクローン作成とマウント
削除したVMとVMDK	セカンダリ バックアップ	NFS 環境: Storage VMotion を使用したクローン作成とマウント VMFS 環境: Storage VMotion を使用したクローン作成とマウント
VMとVMDK	VM整合性のあるプライマリ バックアップ	NFS環境: ONTAP Single File SnapRestore VMFS環境: Storage VMotionによるクローン作成とマウント
VMとVMDK	VM整合性のあるセカンダリ バックアップ	NFS環境: ONTAP SnapMirror Restore VMFS環境: Storage VMotionによるクローン作成とマウント
vVol VM	クラッシュ整合性のあるプライマリ バックアップ	すべてのプロトコルに対してONTAP Single File SnapRestore
vVol VM	クラッシュ整合性のあるセカンダリ バックアップ	すべてのプロトコルに対してONTAP SnapMirrorリストア
FlexGroup VM	プライマリ バックアップ	NFS 環境: * ONTAPバージョン9.10.1以降を使用している場合は、ONTAP Single File SnapRestoreを使用します。* ONTAPの以前のバージョンでは、Storage VMotionを使用してクローンを作成し、マウントします。 VMFS環境: FlexGroupsではサポートされません

復元操作	から	使用方法
FlexGroup VM	セカンダリ バックアップ	<p>NFS環境：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ONTAPバージョン 9.10.1 以降を使用している場合は、ONTAP SnapMirror復元</li> <li>それより前のONTAPバージョンの場合、クローニングとマウントおよびStorage vMotion</li> </ul> <p>VMFS環境: FlexGroupsではサポートされません</p>



vVolコンテナのリバランシング後にvVol VMをリストアすることはできません。

ゲスト ファイルのリストア処理は、NFS環境とVMFS環境の両方で、(Storage vMotionを使わない) クローニングおよびマウント処理を使用して実行されます。



復元操作中に、次のエラーが発生する場合があります。`Host unresolved volumes is null` または `Exception while calling pre-restore on SCV....Error mounting cloned LUN as datastore...` これは、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereがクローンの再署名を試行したときに発生します。VMwareの制限により、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereでESXiホストの詳細設定の自動再署名の値を制御できません。 NVMe over TCP および NVMe over FC ストレージの場合、新しいサブシステムが追加されても、SCV はコントローラーを動的に追加できません。マウント処理の前に、必要なマッピングを作成しておいてください。

参照 ["KB記事: SCVクローンまたは復元が「ホストの未解決ボリュームがnullです」というエラーで失敗する"](#) エラーの詳細については、こちらをご覧ください。

## バックアップの検索

[Restore] ウィザードを使用して、VMまたはデータストアの特定のバックアップを検索できます。バックアップが見つかったら、リストアできます。

### 手順

1. VMware vSphere クライアント GUI で、ツールバーの メニュー を選択し、次のいずれかを実行します。

バックアップを表示するには...	操作
VM	ホストとクラスター メニュー オプションを選択し、VM を選択して、構成 タブを選択し、* SnapCenter Plug-in for VMware vSphereセクション* で バックアップ を選択します。
データストア	ストレージ メニュー オプションを選択し、データストアを選択して、構成 タブを選択し、* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere* セクションで バックアップ を選択します。

2. 左側のナビゲータ ペインで、VMまたはデータストアを含むデータセンターを展開します。
3. オプション: VM またはデータストアを右クリックし、ドロップダウン リストで \* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere\* を選択し、セカンダリ ドロップダウン リストで \* 復元 \* を選択します。
4. \*復元\* ウィザードで検索名を入力し、\*検索\*を選択します。

フィルター アイコンを選択し、日付と時刻の範囲、VMware スナップショットを含むバックアップが必要かどうか、マウントされたバックアップが必要かどうか、および場所を選択することで、バックアップリストをフィルターできます。「OK」を選択します。

## バックアップからのVMのリストア

VMをリストアするときに、選択したバックアップ コピーで既存の内容を上書きするか、VMのコピーを作成できます。

VMは次の場所にリストアできます。

- 元の場所へのリストア
  - 元のESXiホストにマウントされている元のデータストア (元のVMは上書きされます)
- 別の場所へのリストア
  - 元のESXiホストにマウントされている別のデータストア
  - 同じvCenterで管理されている別のESXiホストにマウントされている元のデータストア
  - 同じvCenterで管理されている別のESXiホストにマウントされている別のデータストア
  - リンク モードの別のvCenterで管理されている別のESXiホストにマウントされている別のデータストア



vVol VMを別のホストにリストアすることはできません。



次の復元ワークフローはサポートされていません: ストレージ VM を追加し、その VM のバックアップを実行し、ストレージ VM を削除して同じストレージ VM を含むクラスターを追加し、元のバックアップの復元を試みます。



NFS環境でのリストア処理のパフォーマンスを向上させるには、VMware アプリケーション のvStorage API for Array Integration (VAAI) を有効にします。

開始する前に

- バックアップが存在している必要があります。

VMをリストアするには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してVMのバックアップを作成しておく必要があります。



SnapCenter Plug-in for VMware vSphere以外のソフトウェアによって実行された VM のスナップショットがある場合、復元操作は正常に完了しません。

- デスティネーション データストアの準備が完了している必要があります。

- リストア処理のデスティネーションデータストアには、すべてのVMファイル（vmdk、vmx、vmsdなど）のコピーを格納できるだけの十分なスペースが必要です。
- デスティネーションデータストアに、以前のリストア処理の失敗で発生した古いVMファイルが含まれていてはなりません。古いファイルの名前の形式は次のようにになります  
`restore_xxx_xxxxxx_<filename>`。

- 転送中のVMはリストアできません。

リストアするVMがvMotionまたはStorage vMotionの状態であってはいけません。

- HA構成エラー

バックアップを別の場所にリストアする前に、[vCenter ESXi Host Summary]画面にHA構成エラーが表示されていないことを確認してください。

- 別の場所へのリストア

- 別の場所にリストアする場合は、リストア処理のデスティネーションであるvCenterでSnapCenter Plug-in for VMware vSphereが実行されている必要があります。デスティネーションデータストアに十分なスペースが必要です。
- [Restore To alternate Location]フィールドのデスティネーションvCenterをDNSで解決できる必要があります。

## タスク概要

- VMの登録が解除され、再登録される

VMの復元操作では、元のVMを登録解除し、バックアップスナップショットからVMを復元し、復元されたVMを同じ名前と構成で同じESXiサーバーに登録します。リストア後に、VMをリソースグループに手動で追加する必要があります。

- データストアのリストア

データストアはリストアできませんが、データストア内のVMはリストアできます。

- vVol VMのリストア

- 複数のVMにまたがるvVolデータストアはサポートされていません。複数のVMにまたがるvVolデータストア内の接続されたVMDKはバックアップされないため、リストア後のVMには一部のVMDKしか含まれません。
- vVolを別のホストにリストアすることはできません。
- vVolの自動リバランスはサポートされていません。

- VMのVMware整合性スナップショットに失敗した場合

VMのVMware整合性スナップショットの作成に失敗した場合でも、VMはバックアップされます。バックアップコピーに格納されたエンティティは、リストア ウィザードで表示し、リストア処理に使用できます。

- VMが配置されているFabricPoolのストレージ階層が使用できない場合、リストア処理が失敗することがあります。

## 手順

1. VMware vSphere クライアント GUI で、ツールバーの メニュー を選択し、ドロップダウン リストから **VM** とテンプレート を選択します。



削除されたVMを復元する場合は、 SnapCenter Plug-in for VMware vSphere に追加されたストレージVMの資格情報が必要です。 `vsadmin` または、 `vsadmin`。

2. 左側のナビゲータ ペインで VM を右クリックし、ドロップダウン リストで \* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere\* を選択し、セカンダリ ドロップダウン リストで \* 復元 \* を選択してウィザードを起動します。
3. \*復元\* ウィザードの \*バックアップの選択\* ページで、復元するバックアップ スナップショットを選択します。

特定のバックアップ名または部分的なバックアップ名を検索することも、 フィルタ アイコンを選択して日付と時刻の範囲を選択し、 VMware スナップショットを含むバックアップが必要かどうか、マウントされたバックアップが必要かどうか、 および場所を選択して、 バックアップ リストをフィルタすることもできます。 [OK] を選択してウィザードに戻ります。

4. \*範囲の選択\* ページで、 \*復元範囲\* フィールドで \*仮想マシン全体\* を選択し、 復元場所を選択して、 バックアップをマウントする宛先情報を入力します。

\*VM名\* フィールドに同じVM名が存在する場合、新しいVM名の形式は次のようになります。  
<vm\_name>\_<timestamp>。

部分的なバックアップを復元する場合、復元操作では\*範囲の選択\* ページがスキップされます。

5. \*場所の選択\* ページで、復元されたデータストアの場所を選択します。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphere 4.5以降では、 FlexGroup ボリューム用のセカンダリ ストレージを選択できます。

6. 概要ページを確認し、 [完了] を選択します。

7. オプション: 画面下部の \*最近のタスク\* を選択して、操作の進行状況を監視します。

最新の情報を表示するには画面を更新します。

#### 終了後の操作

- IPアドレスの変更

別の場所にリストアした場合は、 静的IPアドレスが設定されている場合にIPアドレスが競合しないように、新しく作成したVMのIPアドレスを変更する必要があります。

- リソース グループへのリストアしたVMの追加

VMは、リストアされても、以前のリソース グループに自動的に追加されることはありません。そのため、リストアしたVMを適切なリソース グループに手動で追加する必要があります。

## 削除されたVMのバックアップからのリストア

削除したVMは、データストアのプライマリ バックアップまたはセカンダリ バックアッ

プから選択したESXiホストにリストアできます。

VMは次の場所にリストアできます。

- ・元の場所へのリストア
  - 元のESXiホストにマウントされている元のデータストア（VMのコピーが作成されます）
- ・別の場所へのリストア
  - 元のESXiホストにマウントされている別のデータストア
  - 同じvCenterで管理されている別のESXiホストにマウントされている元のデータストア
  - 同じvCenterで管理されている別のESXiホストにマウントされている別のデータストア
  - リンク モードの別のvCenterで管理されている別のESXiホストにマウントされている別のデータストア

-  別の場所にリストアする場合は、リストア処理のデスティネーションであるリンクされたvCenterでSnapCenter Plug-in for VMware vSphereが実行されている必要があります。デスティネーションデータストアに十分なスペースが必要です。
-  vVol VMを別の場所にリストアすることはできません。
-  削除されたVMをリストアする場合、そのVMに元々割り当てられていたタグやフォルダはリストアされません。

開始する前に

- ・VMware vSphereクライアントのストレージシステムページで、ストレージシステムのユーザー アカウントには、["ONTAPに必要な最小限のONTAP権限"](#)。
- ・vCenterのユーザー アカウントには、["SnapCenter Plug-in for VMware vSphereに必要な最小限のvCenter権限"](#)。
- ・バックアップが存在している必要があります。

VMにVMDKをリストアするには、SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してVMのバックアップを作成しておく必要があります。

-  NFS環境でのリストア処理のパフォーマンスを向上させるには、VMwareアプリケーションのvStorage API for Array Integration (VAAI) を有効にします。

タスク概要

データストアはリストアできませんが、データストア内のVMはリストアできます。

VMが配置されているFabricPoolのストレージ階層が使用できない場合、リストア処理が失敗することがあります。

手順

1. vCenter Server で、インベントリ > データストア に移動し、データストアを選択します。
2. SnapCenter Plug-in for VMware vSphereセクションで、[構成] > [バックアップ] を選択します。

3. バックアップをダブルクリックすると、バックアップに含まれるすべてのVMのリストが表示されます。
4. バックアップリストから削除された VM を選択し、[復元] を選択します。
5. \*復元\* ウィザードの\*バックアップの選択\*ページで、復元するバックアップ コピーを選択します。

特定のバックアップ名または部分的なバックアップ名を検索することも、フィルタ アイコンを選択して日付と時刻の範囲を選択し、VMware スナップショットを含むバックアップが必要かどうか、マウントされたバックアップが必要かどうか、および場所を選択して、バックアップリストをフィルタすることもできます。 [OK] を選択してウィザードに戻ります。

6. \*範囲の選択\*ページで、\*復元範囲\*フィールドで\*仮想マシン全体\*を選択し、復元場所を選択して、バックアップをマウントする宛先ESXiホスト情報を入力します。

リストア先は、SnapCenterに追加されている任意のESXiホストにすることができます。このオプションは、指定された日時のスナップショットから、VM が存在していた選択したバックアップの内容を復元します。このオプションを選択すると、VM を再起動 チェックボックスがオンになり、VM の電源がオンになります。

NFSデータストア内のVMをESXiクラスタ内の別のESXiホストにリストアすると、リストア後、そのVM が代替ホストに登録されます。

7. \*場所の選択\*ページで、復元するバックアップの場所（プライマリまたはセカンダリ）を選択します。
8. 概要ページを確認し、[完了] を選択します。

## バックアップからのVMDKのリストア

従来のVMまたはvVol VMのプライマリ バックアップまたはセカンダリ バックアップから、既存のVMDKのほか、削除や切断したVMDKをリストアできます。

VM上の1つ以上の仮想マシン ディスク (VMDK) を同じデータストアにリストアできます。



NFS環境でのリストア処理のパフォーマンスを向上させるには、VMwareアプリケーションのvStorage API for Array Integration (VAAI) を有効にします。

開始する前に

- ・バックアップが存在している必要があります。

SnapCenter Plug-in for VMware vSphereを使用してVMのバックアップを作成しておく必要があります。

- ・転送中のVMはリストアできません。

リストアするVMがvMotionまたはStorage vMotionの状態であってはいけません。

### タスク概要

- ・VMDKがVMから削除されているか切断されている場合、リストア処理によってVMDKがVMに接続されます。
- ・VMが配置されているFabricPoolのストレージ階層が使用できない場合、リストア処理が失敗することがあります。

- 接続処理とリストア処理では、デフォルトのSCSIコントローラを使用してVMDKが接続されます。ただし、NVMeディスクを使用してVMに接続されたVMDKがバックアップされる際、接続処理とリストア処理では、利用可能な場合はNVMeコントローラが使用されます。

#### 手順

- VMware vSphere クライアント GUI で、ツールバーの メニュー を選択し、ドロップダウン リストから **VM** とテンプレート を選択します。
- 左側のナビゲータ ペインで VM を右クリックし、ドロップダウン リストで \* SnapCenter Plug-in for VMware vSphere\* を選択し、セカンダリ ドロップダウン リストで \*復元\* を選択します。
- \*復元\* ウィザードの「バックアップの選択」ページで、復元するバックアップ コピーを選択します。

特定のバックアップ名または部分的なバックアップ名を検索したり、フィルタ アイコンを選択して日付と時刻の範囲を選択し、VMware スナップショットを含むバックアップが必要かどうか、マウントされたバックアップが必要かどうか、およびプライマリまたはセカンダリの場所を選択して、バックアップ リストをフィルタすることができます。 [OK] を選択してウィザードに戻ります。

- \*範囲の選択\* ページで、復元先を選択します。

復元するには...	復元先を指定してください...
元のデータストア	ドロップダウンリストから*特定のディスク*を選択し、*次へ*を選択します。データストア選択表で、VMDKを選択または選択解除できます。
別の場所にある別のデータストア	宛先データストアを選択し、リストから別のデータストアを選択します。

- \*場所の選択\* ページで、復元するスナップショット (プライマリまたはセカンダリ) を選択します。
- 概要ページを確認し、[完了] を選択します。
- オプション: 画面下部の\*最近のタスク\*を選択して、操作の進行状況を監視します。
- 最新の情報を表示するには画面を更新します。

## MySQLデータベースの最新のバックアップのリストア

メンテナンス コンソールを使用して、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere のMySQLデータベース (NSMデータベースとも呼ばれる) の最新のバックアップをリストアできます。

#### 手順

- メンテナンス コンソールのウィンドウを開きます。
- ["メンテナンスコンソールにアクセスする"。](#)
- メインメニューからオプション\*1) アプリケーション構成\*を入力します。
- アプリケーション構成メニューから、オプション\*6) MySQL のバックアップと復元\*を入力します。
- MySQL バックアップおよび復元構成メニューから、オプション 4) MySQL バックアップの復元 を入力します。

5. 「最新のバックアップを使用して復元します」というプロンプトで **y** と入力し、**Enter** を押します。

バックアップMySQLデータベースが元の場所にリストアされます。

## MySQLデータベースの特定のバックアップのリストア

メンテナンス コンソールを使用して、SnapCenter Plug-in for VMware vSphere仮想アプリライアンスのMySQLデータベース（NSMデータベースとも呼ばれる）の特定のバックアップをリストアすることができます。

手順

1. メンテナンス コンソールのウィンドウを開きます。  
["メンテナンスコンソールにアクセスする"。](#)
2. メインメニューからオプション\*1) アプリケーション構成\*を入力します。
3. アプリケーション構成メニューから、オプション\*6) MySQL のバックアップと復元\*を入力します。
4. MySQL バックアップおよび復元構成メニューから、オプション 2) MySQL バックアップの一覧 を入力し、復元するバックアップをメモします。
5. MySQL バックアップおよび復元構成メニューから、オプション 4) MySQL バックアップの復元 を入力します。
6. 「最新のバックアップを使用して復元します」というプロンプトで、**n** と入力します。
7. 「復元元のバックアップ」というプロンプトでバックアップ名を入力し、**Enter** を押します。

選択したバックアップMySQLデータベースが元の場所にリストアされます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。